

上下水道局だより

No.13

発行
令和3年4月1日

『豊橋市上下水道ビジョン 2021-2030』を策定しました

基本理念

未来へ引き継ぐ豊橋の上下水道

- とどけます きれいな水を みんなの元へ—
- かえします きれいな水を みんなの海へ—
- つなぎます きれいな水を みんなの未来へ—

※今回の「上下水道局だより」では概要を紹介しています。ビジョン全編は、上下水道局ホームページに掲載しています。



小鷹野浄水場



中島処理場

「上下水道局だより」についてのご意見やご感想をお待ちしています。

豊橋市上下水道局

〒440-8502 豊橋市牛川町字下モ田29-1

E-mail ● water@city.toyohashi.lg.jp

ホームページ ● <https://www.city.toyohashi.lg.jp/water/>



上下水道局
ホームページ



豊橋市上下水道局
マスコットキャラクター「クリン」

ビジョン掲載事業の問合せ先(電話番号) 総務課 ● 51-2702 営業課 ● 51-2762 浄水課 ● 61-8761
水道管路課 ● 51-2723 下水道施設課 ● 46-2854 下水道整備課 ● 51-2781 (全て平日8:30～17:15)

ビジョン策定の趣旨

本市の水道事業は、昭和5年に県下2番目の水道として通水を開始した後、平成15年度までに8次にわたる拡張事業を実施し、現在は「適正な維持管理」の時代へと移行しています。普及率は令和元年度において99.77%に達しています。

また、本市の下水道事業は、東京、名古屋、京都に次ぎ、処理場を有する全国4番目の都市として昭和10年に野田処理場が運転を開始した後、令和元年度に至るまで9次にわたる拡張事業を進めてきました。普及率は令和元年度において79.61%となっています。

人口減少・節水型社会の進行に伴う料金・使用料収入の減少や施設などの老朽化に伴う更新需要の増大、地震や台風などの大規模災害への対応など、今後の上下水道事業を取り巻く経営環境の厳しさはさらに増していくことが予想されます。

事業開始当時の様子

【小鷹野浄水場のろ過池】



【札幌通りの水道鉄管布設工事】



【野田処理場の第一沈殿池及びばっ気槽】



【船町の下水道幹線工事】



老朽化した水道管と下水道管

【錆による水道管の腐食】



【地中で折れた水道管】



【劣化した下水道管】



【下水道管に起因した道路陥没】



そこで、上下水道事業を取り巻く経営環境、国や国際社会の動きを踏まえ、安全で安心な水道水を安定的に供給するとともに、汚水及び雨水の適切な処理による生活環境の向上や公共水域の保全を効果的・効率的に実現するため、令和3年度から12年度までを計画期間とする中長期の経営計画として「豊橋市上下水道ビジョン2021-2030」を策定しました。

ビジョンの進捗管理

本ビジョンでは、「取り組みの基本方針」ごとに指標と令和12年度までの目標値を設定し、毎年度の進捗評価を行うとともに収支状況の確認を行います。

また、毎年度の進捗評価と収支状況、目標値と実績値との隔たりなどを確認し、新たな社会情勢の変化などを踏まえた見直しを計画期間の中間時点で行います。

最新のトピック

「新エネ大賞」経済産業大臣賞を受賞しました!

「豊橋市バイオマス資源利活用施設整備・運営事業」が、他の自治体への展開が期待できる内容を高く評価され、1月26日に令和2年度「新エネ大賞」経済産業大臣賞【地域共生部門】を受賞しました。



【バイオマス利活用センター】

